

平成17～19年度 経営効率化目標の達成状況について

北陸ガスでは、平成17年6月に策定した平成17～19年度経営効率化目標の達成に向け、経営全般にわたる効率化を進めてまいりました。その結果、平成19年度末現在の達成状況は以下のとおりです。なお、本年3月1日の料金改定の実施に合わせ、新たな経営効率化目標を設定しております。

効率化努力目標の内容	達成状況					
(1)労働生産性の維持向上 従業員1人あたりの労働生産性水準の維持向上を図ります。 ・従業員1人あたりお客さま件数：900件台/人 ・従業員1人あたりガス販売量：70万m ³ 台/人		H17年度	H18年度	H19年度		
	1人あたりお客さま件数	909件	932件	941件		
	1人あたりガス販売量	78万m ³	86万m ³	95万m ³		
(2)設備建設に係る効率的な投資の実行 安定供給や保安確保を前提に、工期・仕様の精査や新工法・新技術の導入等による効率的な設備建設を進めることによって、目標期間中（平成17～19年度）の設備建設に係る平均投資総額を、平成16年度実績以下にすることを目標とします。		H17年度	H18年度	H19年度	H17～H19年度平均	H16年度
	設備建設に係る投資総額(百万円)	4,057	4,287	3,867	4,070	4,073
(3)地震対策の推進 地震発生時に、震度が強い地区のガス供給を速やかに停止する自動遮断装置を、計画的に設置します。 地震に強い導管網を構築するため、ネジ接合管からポリエチレン(PE)管への取替を、計画的に実施します。	自動遮断装置の設置					
		H17年度	H18年度	H19年度		
	設置箇所数	11ヶ所	10ヶ所	17ヶ所		
	ネジ接合管からポリエチレン(PE)管への取替実績					
	H17年度	H18年度	H19年度			
取替延長	34.4km	54.9km	56.7km			
(4)お客さまサービスの向上 新たなシステムやお客さまニーズを反映した制度の導入等により、さらなるお客さまサービスの向上を図ります。	項目	システム・サービス向上等の内容			導入年月	
	「家庭用コージェネレーションシステム契約」の新設	コージェネ等の家庭用コージェネレーションシステムをお使いになるお客さま向けの選択約款を新設しました。			H17.7	
	「業務用季節別契約」の新設	厨房等でガスをご利用の業務用のお客さまであって、季節によるご使用量の変動が少なく、年間を通じてガス設備を長時間お使いになるお客さま向けの選択約款を新設しました。			H17.7	
	Web受付の開始	当社ホームページにて閉鎖受付を開始しました。			H18.3	
	「延滞利息制度」の導入	ガス料金において従来の早遅収制度から延滞利息制度に変更しました。			H18.4	
	「家庭用外付ヒティング契約」の変更	従前の専用住宅に加え、併用住宅（店舗、作業所、事務所等の業務用部分と居住部分が結合している住宅）にも適用範囲を拡大しました。			H19.4	
	「融雪契約」の変更	融雪装置の定義を「ガス融雪装置」とし、適用範囲を拡大しました。			H19.7	
	クレジット払いの導入	ガス料金のクレジット払いを導入しました。			H20.1	
(5)環境問題への対応 天然ガスの普及拡大によるCO ₂ 抑制や、掘削土の再資源化等により、環境負荷の低減に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスコージェネレーションシステム、ガスヒューボン等の省エネルギー、高効率ガスシステムの普及や業務用熱源開発を通じた都市ガスの拡販を図っております。 ・掘削土の改良利用、発生土の再利用およびアスファルト・コンクリート廃材の再生利用を促進しております。 ・ISO14001の運用により、環境負荷の低減を推進しました。 					